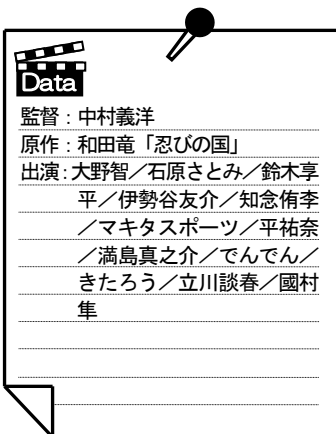




■■■ショートコメント■■■

◆本作は、『のぼうの城』『村上水軍の娘』等の小説が大人気の和田竜の原作を映画化したもの。私の大好きな「忍びの者」系の映画だから期待大! もっとも、かなりエンタメ模様らしいから、さて・・・? 本作のイントロダクションは次の通りだ。すなわち

原脚 和田竜 × 主演 大野智 × 監督 中村義洋
「のぼうの城」「村上水軍の娘」

侍VS忍び、逆転劇の幕が開く!

『のぼうの城』で描かれた豊臣の「忍城攻め」。NHK大河ドラマ『真田丸』にて激突を見せた、徳川が攻める「上田合戦」。それらは戦国時代の英雄たちが苦杯をなめた逆転劇。この映画で描かれる「天正伊賀の乱」も常勝・織田軍が喫した大番狂わせである。なぜ、最強にして大軍の織田は戦国大名もない伊賀を攻略することができなかったのか? 歴史に秘められたその謎がついに解き明かされます。原作は、『のぼうの城』、『村上水軍の娘』で歴史小説の若き旗手となった和田竜が、知る人ぞ知る史実に光をあてた同名小説。出演は、伊賀一の忍びながら、妻には頭が上らない主人公・無門に大野智。大ヒット作『映画 怪物くん』以来、6年ぶりの主演映画となった本作では、アクション、ワイヤー、ダンスなども交えた、全く新しい忍者アクションを披露しています。また、無門が唯一、心を許す最愛の妻・お国に石原さとみ、心技体にも優れる織田軍最強の武将・日置大膳に伊勢谷友介、物語の鍵を握る忍び・下山平兵衛に鈴木亮平。さらに國村隼、立川談春、知念侑李、マキタスポーツなど豪華キャストが脇を支え、日本を代表する名優・山崎努がナレーションを担当しています。主題歌は「嵐」が、時代をつなぐ一途な愛を歌うラブソング「つなぐ」で参加。衣裳デザインは黒澤明監督作品でも腕をふるった黒澤和子。そして、『殿、利息でござる!』、『予告犯』の実力派、中村義洋がメガホンを取ります。巨大なスケール、ド派手なアクションと頭脳戦。そして、物語に貫かれる忍びの愛。誰も見たことがない戦国エンターテインメント超大作が今夏、誕生します。

◆本作の主人公無門(大野智)は、「忍び」としての能力は抜群だが、美人妻(石原さとみ)の尻に敷かれているキャラ。また、本作の構造的問題は無門たち「下忍」と、「百地三太夫」を中心とする「十二家評定衆」たちとの身分関係(上下の階級)の違い。また、時代背景として、伊賀の制圧を狙う織田信長の次男、信雄のバカさ加減は想像通りだが、その家臣に日置大膳(伊勢谷友介)というすごい奴がついているから、「伊賀の民」にとって織田軍の脅威は・・・?

本作のストーリーは次の通りだ。すなわち、

STORY

時は戦国。魔王・織田信長は諸国を次々と滅ぼし、勢力を拡大していた。次に狙う伊勢・北畠家には次男の信雄を送り、日置大膳、長野左京亮らの重臣ともども、支配下におくことに成功した。特に日置大膳はその武勇が織田家に轟くほどの猛者で、織田の軍勢はさらに盤石なものとなった。

今や織田家の天下統一は目前であった。しかし、その織田信長でさえ攻め入らなかった国がひとつだけあった。それは伊勢の隣国・伊賀。伊賀に横むのは人を人とも思わぬ人々でなしの忍者衆で、“虎狼の族”と呼ばれて恐れられていた。そんな忍者のひとり、無門は、“どんな堅牢な門でも彼の前では意味をなさない”と形容されるほどの凄腕の持ち主だが、普段は無類の怠け者で、女房のお国の尻に敷かれる毎日を送っていた。

一方、腕は無門に匹敵する伊賀忍者の下山平兵衛は、家族の命でさえも粗末に扱う伊賀の考えに疑念が生じ、故郷の伊賀こそ滅亡すべきと考えようになっていた。そしてある日、ついに織田軍が伊賀討伐の兵を挙げる。下山平兵衛が祖国を裏切り、伊賀への手引きを行ったのだった。

最強織田軍 対 伊賀忍び軍

圧倒的な戦力で伊賀に攻め込む織田の軍勢。伊賀は武力・兵力では到底かなはずもない。しかし、無門率いる忍びの軍団は誰も想像できない秘策を用意して織田軍に対抗するのだった！

◆また、本作の人物相関図は次の通りだ。すなわち



◆近時の邦画のつくり方については様々な意見があるが、それはさておき、本作が「誰も見たことがない戦国エンターテインメント」であることはたしかだろう。5月25日に観た『たたら侍』(16年)は、テーマも素材もいいものだったが、その出来はイマイチだった。しかして、さて本作は・・・？

2017 (平成29) 年6月7日記